

徳島県特別活動小中連携研究指定校事業

**OUR徳島特活小中連携いきいき事業
～南部エリア～**

徳島県教育委員会

OUR徳島特活小中連携いきいき事業について

9年間の義務教育段階を見通した特別活動の指導の在り方について中学校区を実践研究モデル地域に指定し、モデル地域の小学校と中学校が連携し、**集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、児童生徒の「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に係る資質・能力を育成する。**



あふれる笑顔 輝く夢 いきいきした学び

年間アドバイザー

杉田 洋（すぎた ひろし）

國學院大学 人間開発学部 初等教育学科 教授

前文部科学省初等中等教育局 視学官

日本特別活動学会 理事

全国特別活動学会 顧問

特別アドバイザー

清水 弘美（しみず ひろみ）

学校法人八王子学園なかよし幼稚園 園長

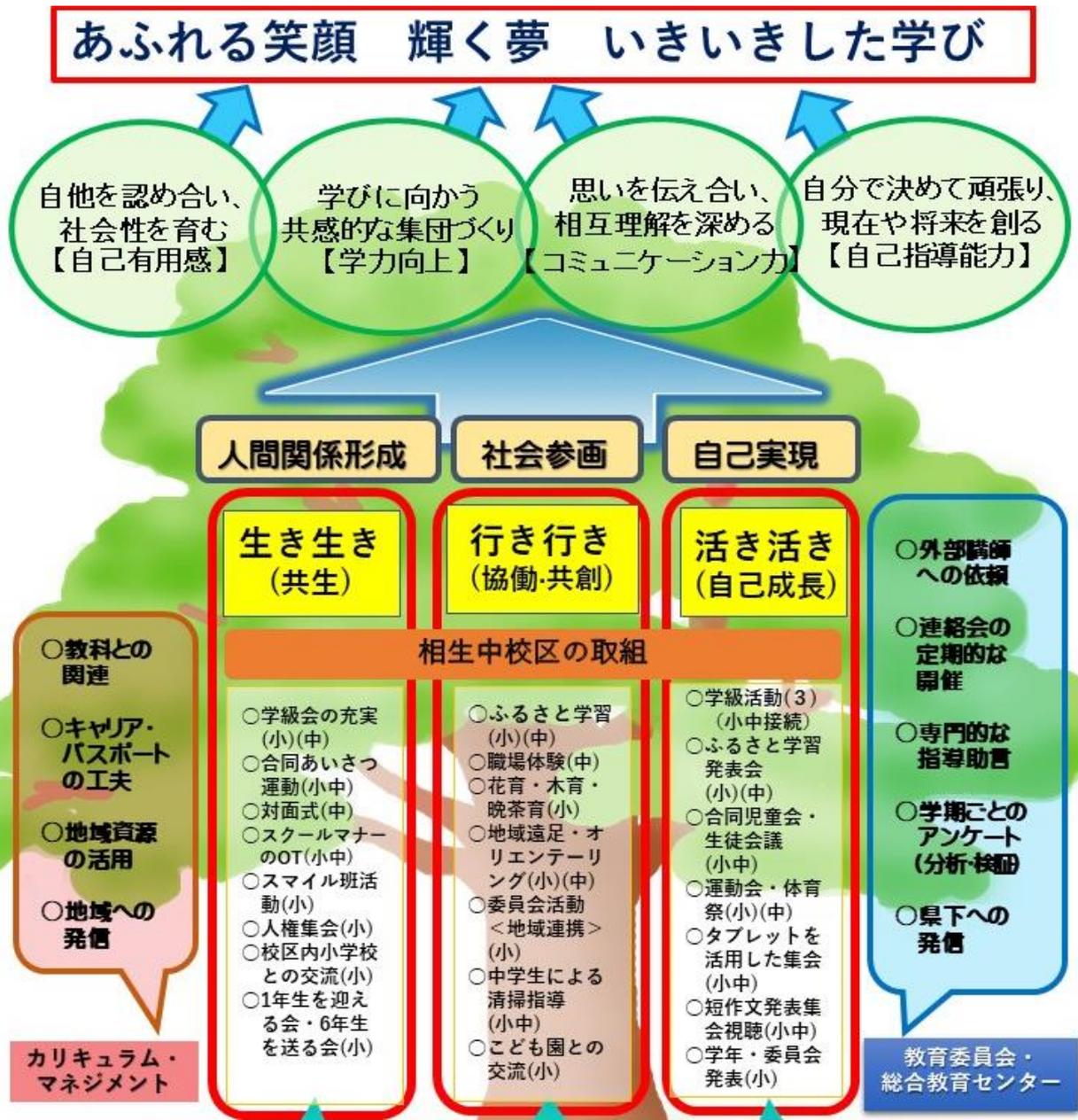
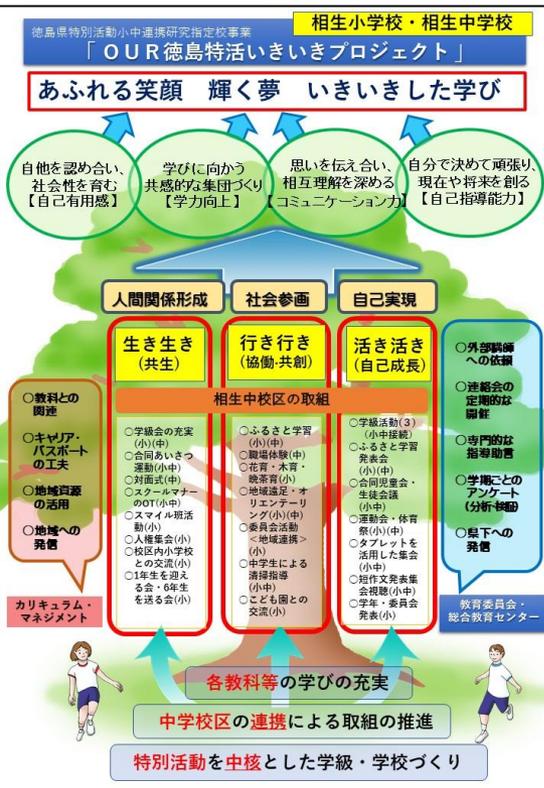
創価大学 非常勤講師（特別活動論の指導）

東京都八王子市立浅川小学校元校長

全国学校行事研究会元会長

全国道徳特別活動研究会元副会長

令和4年度研究構想図



令和4年度 第1期研究会

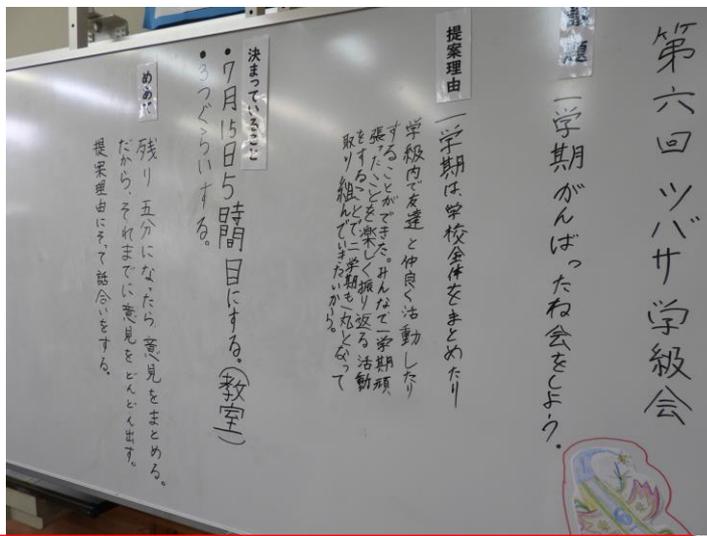
令和4年7月4日(月)

相生小学校：公開授業（全学級）

研究授業（学級活動（1）6年生）

「1学期がんばったね会をしよう」

相生中学校：相生小学校への参観



講話の様子



学級活動(1)
「一学期がんばったね会をしよう」



國學院大學の
長期研修生参加

令和4年度 第2期研究会

令和4年11月10日(木)

相生小学校：研究授業（児童会活動）

全校集会「知ろう！見つけよう！ふるさと相生
～地域遠足を通して～」

相生中学校：公開授業（全学級）

研究授業（生徒会活動）

生徒集会「よりよい学級・学校生活をつくろう」

全校集会「知ろう!見つけよう!ふるさと相生 ～地域遠足を通して～」



中学校の様子



生徒集会「よりよい学級・学校生活をつくろう」

令和4年度 第3期研究会

令和5年1月26日(木)

相生小学校：相生中学校への参観

(1月31日(火) 教育課程実践検証協力校事業に係る
協力校としての授業研究会を開催)

相生中学校：公開授業 (全学級)

研究授業 (学校行事)

「新入学生に対する生活オリエンテーション」

「新入学生との意見交換」

中学校の公開授業の様子



「中学1年生と新入学生の意見交換」



「中学1年生による新入学生に対する生活オリエンテーション」



令和5年度研究構想図



あふれる笑顔 輝く夢 いきいきした学び

自分で考え、行動することは楽しい！

仲間の考えを知ることは楽しい！

自分を認め合い、社会性を育む【自己有用感】

学びに向かう共感的な集団をつくる【学力向上】

思いを伝え合い、相互理解を深める【コミュニケーションカ】

自分で決めて頑張る、現在や将来を創る【自己指導能力】

人間関係形成・社会参画・自己実現

行き行き (共生)



- 学級会の充実
- 学校行事の工夫
- 児童会活動・生徒会活動の充実の充実

生き生き (協働・共創)



- 合同のあいさつ運動
- 新入生を迎える会
- ふるさと学習

生き生き (自己成長)



- オンラインでの発表会
- ふるさと学習発表会
- 合同児童会・生徒会議

相生小学校・相生中学校の取組

令和5年度 第1期研究会

令和5年6月19日(月)

相生小学校：公開授業（全学級）

研究授業（学級活動（1）5年生）

「“暑さに負けるな！心も体も元気いっぱい会”
をしよう！」

相生中学校：相生小学校への参観



小学校の公開授業・研究授業の様子



令和5年度 第2期研究会

令和5年10月16日(月)

相生小学校：相生中学校への参観

(10月24日(火) 教育課程実践検証協力校事業に係る
協力校としての授業研究会を開催)

相生中学校：公開授業 (全学級)

研究授業 (学級活動 (1) 2年生)

「自分たちで来年の体育祭につながるような種目を考えよう」



中学校の公開授業・研究授業の様子





小学校の教育課程実践検証協力校事業の授業研究会の様子



令和5年度 第3期研究会

令和6年1月29日(月)

相生小学校：公開授業（全学級が学級活動（1））

研究授業（学級活動（1）6年生）

「先生達に感謝を伝え、思い出をつくろう」

相生中学校：研究授業（学校行事）

「新入学生に対する生活オリエンテーション」

「新入学生と中学生の意見交換」

合同：各校の取組説明



小学校の学級活動(1)の話合いや実践





中学校の学校行事の様子



成果と課題について

～教職員の自由記述より～

成果

児童生徒

- ・自分たちの学校を自分たちでよりよくしようとする力や話し合いで解決する力、相手を思いやる心などが育ち、楽しい学校になった。
- ・自分の思いや考えを話せる児童生徒が増えて、いじめや不登校が減った。
- ・話し合いを重ねることで、提案理由を意識したり、合意形成を図ったりしながら話し合いを進められるようになってきている。
- ・友達の意見を大切にするとところから、友達を大切にできる児童が増えた。
- ・自分たちで考え、提案し、協力して活動する楽しさを知ることで、主体的に活動できる児童生徒が増えた。
- ・物事を表面的に捉えるだけではなく、意義も踏まえて考えるようになった。その結果、スクールマナーの見直しを生徒たちが主体となって行うことができた。

成果

教師

- ・自身の特別活動に対する知識をアップデートすることができた。
- ・子どもに機会を与えること、任せることの大切さを改めて感じた。
- ・中学校でも学級会をしている様子が見られてよかった。
- ・これまで学級会など特別活動の研究をする機会がなかったが、多くの指導者に助言をもらいながら、研究を深めることができた。
- ・児童生徒が将来的に集団の中で問題解決を図るためには、学校現場の中で多数決で物事を決めていくことをせず、議論を通し、全員で納得解を得られるよう努力をする重要性を感じるようになった。
- ・児童会や生徒会の活動を活発に行う手立てを学ぶことができ、授業においても児童生徒自身が考えたり決めたりする場面を設けるようになった。

課題

- ・本エリアの児童生徒が、主体的に考えて行動することに対して苦手意識を持っているということを改めて感じたため、低学年から学級会に積極的に取り組み、成功体験を重ねて、主体性を養う必要がある。
- ・児童によっては理解が追いついていないまま話合いが進んだり、疑問があっても質問せずにそのままにしてしまったりする場面を改善する必要がある。
- ・児童生徒が本気になればなるほど、時間が必要になってくるため、他の教育活動に支障が出ないようにして、無理なく続けられる持続可能なスタイルを模索する。学級会を計画的に位置づけていかなければならない。
- ・学級会の話合いや実践にかかる時間をもっとスムーズにしていく。
- ・今後も小学校と中学校で連携して研修をする機会を設ける必要がある。
- ・先頭に立って話合いを進めていくことができるファシリテーターを育成する。

2年間の事業を終えて

- ・児童生徒の実態を把握し、目指す方向をしっかりと見据えて、児童生徒が自主的、創造的に話し合い、協力して新しいものを生み出していける集団づくりに取り組みたい。
- ・折り合いをつけたり、意見が繋がったりするような話し合いにするとともに、引き続き、発言することが苦手な児童生徒に対する支援を行っていききたい。
- ・少人数を活かして、全校での話し合い活動など定期的に取り入れて、異学年の考え方に触れることができるようにしたい。
- ・特活の成果の他教科への生かし方を考えていききたい。